

武田 圭介  
公正会

北海道洞爺湖サミット  
について

**問** 来年夏の北海道洞爺湖サミットに向けての砂川市の取り組みについて伺います。

**答** 北海道においては本年6月に、いち早く北海道洞爺湖サミットの成功を期するため、官民一体となった北海道全体の受け入れ体制を確立するとともに、在京外国人記者に対して、北海道の魅力を世界に発信し、北海道の自然・食・文化などを現地ですべて体感できる機会を提供するプレスツアーを実施し、本年末から来年4月にかけて道内各地を訪問する予定です。

当市もオアシスパーク・ハイウェイオアシス館・北海道子どもの国・スイートロードなどの、砂川の魅力を強くアピールしているところで、「洞爺湖サミット」に関係し、来道されます皆様に対して、砂川市をPRできる機会を得ましたなら、道とも十分連携の上、積極的に砂川市の

知名度向上に努めていきたいと考えています。

西3条通りの交通安全対策  
について

**問** 病院に近いこともあり、通りの両側に車を止める方が多く、車道が狭くなっています。路面が圧雪、凍結し道路状況が悪くなります。お年寄りが、信号が赤になっても道路を歩いている状況を見ます。それらに対する対策について伺います。

**答** この路線には市立病院専用駐車場があり、適切な駐車について周知しているところであり、今後においても周知を継続し、交通面での対策に努めます。

お年寄りに対する交通安全の啓発は重要と考えており、町内会・老人クラブに対しまして、毎年交通安全教室を開催していますので、今後とも機会あるごとに交通安全に向けた指導を徹底してまいりたいと考えています。

**問** 一時停止の標識が見づらく、建物の影から人が出てくる交差点について、標識を大型化したり、ミラーを設置で

きないかについて伺います。  
**答** 標識が樹木で見づらいう状況ですので、広範囲に木の剪定を行いたいと考えています。ミラーの設置についても、現地を確認の上、対応してまいりたいと考えています。



市道西3条通り

土田 政己  
日本共産党

石油高騰による市民生活への  
影響について

**問** 市内の灯油やガソリン等の価格の状況と市民生活や地元経済への具体的な影響について伺います。

**答** 原油価格急騰による石油製品の価格の上昇は極めて憂慮すべき状況となっております。特に、需要期を迎えた灯油については、昨年12月時点での市内平均小売価格1ℓ約74

円が、本年12月現在で約100円となり、26円の大幅な値上げとなっております。また、ガソリンについても、25円の値上げとなっている状況です。

灯油、ガソリンをはじめ、石油製品から食品にいたるまで、生活に直結する商品の値上げが続いており、市民生活にとって大きな影響を及ぼしています。

石油製品の高騰による地元経済への影響については、特に、運送業・タクシー業界・ガソリンスタンドなど、車両の燃料価格が直接、営業利益を左右する業種においては、厳しい営業展開が続いています。また、クリーニング業などは、ボイラーの燃料や洗剤の価格高騰により、現状の価格やサービス提供の維持が、すでに限界にきています。

さらに、農業においても、ハウス栽培にかかる燃料費や農業資材製品も値上げの兆候が見られ、例年にない厳しい対応を強いられています。

加えて、ガソリン販売価格や石油関連商品の値上げが、消費者の行動範囲を狭めることによる、消費活動の鈍化

現金会員価格	
ハイオク ¥/ℓ	166
レギュラー ¥/ℓ	155
軽油 ¥/ℓ	135
価格総覧 (12月)	

や、買い控えに繋がること懸念され、灯油・ガソリンをはじめ、石油製品の高騰は地元経済に対し、多岐にわたる産業の経営を圧迫し、大変憂慮しているところです。

石山川の整備計画について

**問** 石山川と市道空知太中通りの来年度以降の整備計画について伺います。

**答** 石山川河川改修工事は、平成19年度に市道空知太中通りに架かる橋の工事に着手していますが、平成20年度に完成し、更に、市道東1号南通りに架かる橋も完了し、平成21年度には東2号通りに架かる橋を完了させる計画です。

同時に、空知太中通りの未整備区間約132mの改良舗装工事を行う計画であります。

小黒 弘

無所属の会

## 駅前広場の見直しについて

**問** 地域交流センター「ゆう」の開館やJRのサービス充実により、最近ではJRの利用が増えているように思います。ところが、車で砂川駅に行つた場合、とても駐車に困ります。また、残念ながら、駅南側にある市営駐車場は昼夜を問わず満車状態です。

**答** 駅前広場は、鉄道と他の交通機関等相互の乗り継ぎの利便性を図ると共に、公園都市にふさわしいものとして整備しているものであり、市民のいやしの空間として機能しているものと考えていますので、現段階では、公園を駐車場として活用する考えはありません。

## 病院通りの改良について

**問** 北2丁目通り沿いはバスターミナル廃止に伴う民間での複合施設計画、或いはマンション建設計画など活性化が現実的となってきました。

**答** 以前から話している通り、病院通りは駅東部から病院を結ぶ、今後の砂川市にとって最重要路線であると考えます。私の調査によれば、病院通りには街路樹であるハルニレが56本、ニオイヒバが100本植えられているようです。街路樹の移植などを含めた道路改良の考え方と、片側だけでも歩道のロードヒーティングを設置する考え方を伺います。

**答** 歩道のロードヒーティングは駅東部地区の開発が完成した状況の中において、総合計画や中心市街地活性化基本計画に位置づけられている南1丁目通りの整備が重要課題となっており、事業の推進を図って行くことが必要です。したがって、北2丁目通りの整備については、市立病院建替事業の完成後の推移や、今後の財政状況を見極めた中

で検討すべきと考えています。街路樹の移植については、円滑な道路交通を妨げている場合、除排雪作業に支障となる場合は、剪定作業を実施しますが、剪定では改善できない街路樹については、移植も検討します。



市道北2丁目通り

沢田 広志

無所属の会

## 市町村合併について

**問** ①「地域づくり懇談会」では、現在どのような方向性を持って協議されているのか。②市民への周知について。③合併の判断の期限について。

**答** ①2市3町での合併協議につきましましては、平成17年4月に施行された市町村合併の特例等に関する法律（合併新

法）に基づき、北海道が「北海道市町村合併推進構想」として、クラスター分析の結果や3万人を目標とする人口規模、役場間の最大時間距離80分などを基準として、43の組み合わせパターンを示したなかでの組み合わせによるもので、この「2市3町の地域づくり懇談会」を設置し、協議を始めました。各団体での財政収支見通しや特別・企業会計・第三セクターの状況など、お互いの財政状況を出し合った中で、合併した場合の課題、問題点を整理することをしています。合併後を想定した財政収支見通し、実質公債費比率、第三セクター等の状況などは非常に厳しいです。9月中旬に空知支庁長に対し、中間的な協議内容の報告として、合併後の財政状況が厳しいため、国や北海道の財政支援が必要であることを伝えたところ財政支援関係については、国は合併新法の下での財政措置が設けられているなか、北海道府県が支援を実施する場合には協力する考えですが、北海道は基本的には地域の自主性、地元の意向を尊重する

姿勢です。中空知地域づくり推進会議における知事発言では、物心両面での支援要請に対し、「心」の方は道職員も協力する内容であり、「物」の財政支援については慎重であり、多額な財政支援については、難しい状況です。

②作成している収支状況等は、合併後の姿を想定し、さまざまな仮定を基にしたものであり、削減効果など不確定な要素が多いため、市民の皆さんに示す状況にはありませんが、今後、本格的な協議に入る場合などには、十分な周知を図り、理解を得ながら進めていきます。

③今年度中に合併協議について結論を下し、議会・市民と協議を重ね、判断する必要があると考えます。

